

# 議会による 市の決算審査が スタート

分科会での  
事業評価が始まりました

## 多摩市議会の決算審査

地方自治体では、年間予算に基づいて執行した事業の結果について、議会による決算審査(事業の進め方、お金の使い方が適切だったかなどをチェックする)を行うことになっています。議会では、議員個人や会派が、それぞれの事業について調査し、議会で質疑、最終的には決算を認定するかどうか判断します。

多摩市議会では、予算と決算を関連付けて審査するため、議長を除く全議員を委員とする「予算決算特別委員会」を設置し、その中に4つの分科会(総務・健康福祉・生活環境・子ども教育)を設け、個別事業調査を行っています。

### 総務 分科会

評価対象事業 ふるさとTAMA応援寄附金管理運営経費

#### 選定理由

ふるさと納税制度のもと、多摩市など都市部の市町村では、大幅な税収減が続いている。特に地方交付税不交付団体の多摩市では、減収額に対する国からの補てんがない。

これらの現状をふまえ、多摩市の税収増の取組みについて、その効果を調査・検証・分析する。

その上で、寄附制度本来の趣旨をふまえ、返礼品競争に陥らないかたちでの税収増に

していくための方向性を探る。また、現行のふるさと納税制度そのものについても課題意識をもちながら、調査を進めていく。



### 健康福祉 分科会

評価対象事業 一般介護予防事業(一般会計)

#### 選定理由

本事業は平成28年度に介護予防等事業から再編され、重層的支援体制整備事業の開始に伴い、多摩市では令和6年度から一般介護予防事業の一部が特別会計から一般会計へと移行された。

多摩市の一般介護予防事業について、その対象が第1号被保険者の全ての者及びその支援のための活動に関わる者となっているか、社会参加や地域づくりにどのように寄与

しているか、重層的支援体制整備事業の現状と、地域住民や関係機



関、他の事業との関連性はどのようになっているか、などについて調査し、これからの多摩市の高齢化への対応と介護予防について議論を深めていく。